

仙台市環境行動方針

仙台市は、高度経済成長期に発生した河川の水質汚濁やスパイクタイヤによる道路粉じん問題などの市民生活の危機を、市民・事業者とともに協力して行動することで乗り越え、快適な生活環境を保全・創造してきました。このような取り組みを踏まえ、環境先進都市への発展を目指し、平成 8 年に「仙台市環境基本条例」を制定、翌平成 9 年には仙台市環境基本計画「杜の都環境プラン」を策定し、環境施策の基本的体系を整え、さらに、平成 10 年に「仙台市環境率先行動計画」を策定して市役所自らの環境負荷を低減してきたほか、グリーン購入や新エネルギー活用などに先導的に取り組んできました。

本市においては、市民生活に密着した公共サービスを担う行政機関として、事業実施に伴う環境負荷低減の取り組みの充実、環境に関する法令遵守など社会的責任を果たすとともに、これを公表し、透明性を確保していくことが、より重要になっています。この認識のもと、本市業務による環境負荷低減を推進するうえで基本となる 4 つの指針を定め、環境行動を継続的に実施していくこととしました。

本市が環境行動を実践するとともに、その成果を市民・事業者に広く還元し、共有することで、現在及び将来の市民に対して良好な都市環境を提供するという責務を果たすとともに、地球規模の課題解決へ向けた貢献をしていきたいと考えます。

基本指針

- 1 本市の事業実施に伴う環境負荷の最小化を図る。

本計画に則した環境マネジメントシステムの構築及び運用を通じて、本市の事業実施に伴う環境負荷を最小限とするとともに、業務執行の効率化を図る。

- 2 本市の環境行動に関して説明責任を果たす。

本市の環境負荷の低減の取り組みの内容及び実施結果や環境に関する規制等の遵守状況等の環境行動に関する情報を、市民に対してわかりやすく提供し、その理解を得るよう努める。

- 3 人材を育てる。

環境への負荷と業務の関連を総合的に理解し、自らの行動を律する職員を育成する。

- 4 市民・事業者と協働して環境負荷低減を図る。

本計画による環境負荷低減のための率然的取り組みを通じて、市民・事業者による地域での環境行動を促すことにより、本市全体の環境負荷低減を図り、環境先進都市として地域の持続可能性を高める。

環境配慮に関する主な環境行動

区分		取り組み
エネルギー・燃料・水の使用	電力・都市ガス・灯油等使用量の削減	<p>* 部屋の照明は、必要な場所及び時間以外は必ず消灯する。</p> <p>* 昼光のみで必要照度が得られる南側の窓際などの照明は、可能な限り消灯するようにする。</p> <p>* パソコン、コピー機等の OA 機器は、省電力設定を行う。</p> <p>* 離席時の個人用ノートパソコンのふた閉じを徹底する。</p> <p>* 夜間・休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切り、待機時消費電力を削減する。コンセントを節電タイプの個別スイッチ付きテーブルタップにつなぐなどして、主電源を切りやすいよう工夫する。</p> <p>* 事務室等の冷房の設定温度 28℃、暖房の設定温度 20℃ とすることを徹底する。</p> <p>* ブラインドやカーテンの利用、ドアの開放・締切の工夫により、窓や出入口からの熱の出入りを調節し、冷暖房の負荷を低減する。</p> <p>* 夏期における軽装、冬季における重ね着など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑える。</p> <p>* エレベータの利用を控え、階段の使用を励行する。</p>
	自動車燃料使用量の削減	<p>* 自転車、公共交通機関の利用等により、事務等で使用する自動車の使用削減を図る。</p> <p>* 駐停車時のアイドリング・ストップの実施を徹底する。</p> <p>「アイドリング・ストップ」：自動車の駐停車時にエンジンのかけっ放しをやめることをいう。</p> <p>* 急発進、急加速をしない。できるだけ速度にムラのない走行を心がける。</p> <p>* 自動車を使用するときは、過度な冷暖房を行わない。また、 unnecessary 荷物の搭載を控える。</p>
	水使用量の削減	<p>* 洗車、洗い物、手洗い時、トイレ使用時など日常的に節水を励行する。</p>
物品等の調達・使用	コピー用紙使用量の削減	<p>* 文書・資料等の共有化を図る。</p> <p>* 複数頁にわたる印刷物やコピーは、両面印刷とし、可能であれば縮小・集約印刷する。</p> <p>* インターネット情報等の電子化された資料は画面での確認を原則とし、印刷は最小限にとどめる。</p> <p>* ミスコピーや使用済み片面コピー紙のストックボックスを用紙の規格ごとに設置するなどし、それら用紙の裏面活用やメモ用紙への活用を推進する。</p> <p>* 印刷物、資料等のページ数や部数は、需要や配布の効果を考慮して適正な量に抑える。</p> <p>* 目的に応じた十分な強度と印刷内容の見易さを確保した上で、可能な限り軽量の紙を使用する。</p>
	グリーン購入の推進	<p>* 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づき、物品等の調達を行う。</p> <p>【グリーン購入法抜粋】</p> <p>(事業者及び国民の責務) 第五条 事業者及び国民は、物品を購入し、若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合には、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする。</p>
廃棄物の排出	一般廃棄物排出量の削減リサイクル	<p>* 紙の使用量の抑制や、環境に配慮した長期使用に耐える商品を適量購入することなどにより、ごみの排出を少なくする。</p> <p>* 種類別のごみ箱、回収箱を用意して廃棄物と資源物を分けやすいようにするなどの工夫をして、庁舎ごとのルールに従って、古紙、空き瓶、空き缶、ペットボトル等を分別する。</p> <p>* 売店等で物を購入する際は、マイバックを持参するなどして、レジ袋を受取らないよう努める。</p>